

## 第 254 回

## クラシックファンのためのコンサート

2024 年 6 月 27 日 (木) 大阪倶楽部 4 階ホール 午後 7 時開演

小峰 航一 ヴィオラ無伴奏リサイタル  
～無伴奏ヴィオラの万華鏡～

## &lt;プログラム&gt;

- ヒンデミット 無伴奏ヴィオラソナタ Op. 11-5 より 第 1 楽章  
 ヴュータン カプリッチョ  
 ストラヴィンスキー エレジー  
 J. S. バッハ 無伴奏チェロ組曲 第 1 番より プレリュード  
 ヒンデミット 無伴奏ヴィオラソナタ Op. 31-4 より 第 2 楽章  
 ヘンデル=細川俊夫編曲  
 歌劇『リナルド』より 私を泣かせてください  
 ヒンデミット 無伴奏ヴィオラソナタ Op. 25-1

第 254 回は小峰航一氏をお迎えして、ヴィオラリサイタルを行いました。普段は他楽器とのアンサンブルが多いですが、本日は全て無伴奏、ヴィオラ 1 本での演奏でした。その演奏は色彩豊かで様々な表情に溢れ、この楽器の素晴らしさを一層深く感じることができました。哀愁を帯びた音色やまるで楽器が泣いているかのような表現に、‘自分の声としてこの楽器を歌わせたい’というお話も納得しました。各曲の解説も興味深く、生涯をかけて勉強していきたいというヒンデミットを含め、その他の作品にも小峰氏の熱い思いが感じられ、惜しみない拍手が送られました。

## &lt;ご来場者のアンケートより&gt;

- ・素晴らしい演奏でした。ヴィオラという楽器の魅力に目覚めた思いです。「心象を表現する」という解説に納得です。
- ・ヒンデミットの曲は初めてでしたが、異空間を覗き込むような、不思議な夢を見るような、ちょっとした感覚でした。
- ・ヴィオラ単独でじっくり聴くのは初めてです。いろんな情感のヴィオラを楽しめました。まさに万華鏡ですね。1つの楽器をじっくり聴くのは楽しいです。
- ・「ヴィオラは“歌う”より“語る”楽器」。ヘンデルの アリア、レチタティーボやハーモニクスは、「嘆きの語り」を聴くようでした。



## NPO 法人 クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南 2 丁目 18 番 16 号

TEL 080-4824-4001 WEB [classicfan.jp](http://classicfan.jp) MAIL [contact@classicfan.jp](mailto:contact@classicfan.jp)